

茨城県

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた
平成29年度の目標とその達成状況

目標：1. 保健所圏域ごとの地域移行支援連絡協議会をより活性化させ、圏域毎の目標値を定め活動する。

【達成状況】

○保健所圏域ごとに地域移行支援連絡協議会を年1～2回開催し、関係者の顔の見える関係を築くことができた。

○圏域毎の課題を出し合い、情報交換はできたが、圏域としての目標を定めることはできなかった。

（リーダー研修会において、保健所圏域毎に「具体的な目標」「実施事項」を決めたが、その内容が十分協議会に反映されるには至っていない。）

目標：2. 精神障害に対応した地域包括ケアシステムの構築に向け、市町村における地域ケアシステムの現状を把握するとともに、支援関係者への人材育成体制を検証する。

【達成状況】

○県内市町村の調整会議及び在宅ケアチーム等の実施状況を把握した。

○介護保険関係者を含む支援者に対する基礎研修、リーダー研修を実施した。リーダー研修受講者は今後、保健所圏域の地域移行支援連絡協議会においてもリーダーとして活動してもらえるよう意識づけを行った。

目標：

【達成状況】

平成30年度の実行方針

1. 県自立支援協議会地域移行支援部会を設置し、検討
（圏域における協議会の目標の設定と課題の焦点化、自立支援協議会・人材育成部会との連携強化、ピアサポーター育成など課題の検討）
2. 保健所圏域における地域移行支援連絡協議会の開催（年2回以上）
「いばらき県版こころの生活支援手帳」「茨城県精神医療福祉相談支援の手引き（連携シート）」等のツールの普及・活用
3. 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業を活用し、モデル圏域における事業展開を実施する（2圏域）
4. 人材育成研修の実施
基礎研修、リーダー研修の実施